

気候変動対応

基本的な考え方

OKIグループは、気候変動が深刻化する中、社会課題の解決を通してより良い地球環境を次世代に継承することをミッションと捉え、環境に関連する経営上のリスクや機会を中長期の視点で考慮し、環境経営を推進しています。気候変動については、緩和（地球温暖化の防止・省エネルギー・再生可能エネルギーの利用拡大）と適応（地球温暖化の結果などで生じるとされる風水害による被害への対応）に大別し、管理しています。この取り組みはTCFD^{※1}のスキームにより情報開示するとともに、自社の取り組みを環境マネジメントシステムISO 14001とTCFDに照らして確認しています。

※1 TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)：気候変動に対する企業の対応について、投資家への情報開示の必要性に関する提言

ガバナンス

前ページに記載した、環境マネジメントシステムの体制で対応しています。▶P.31

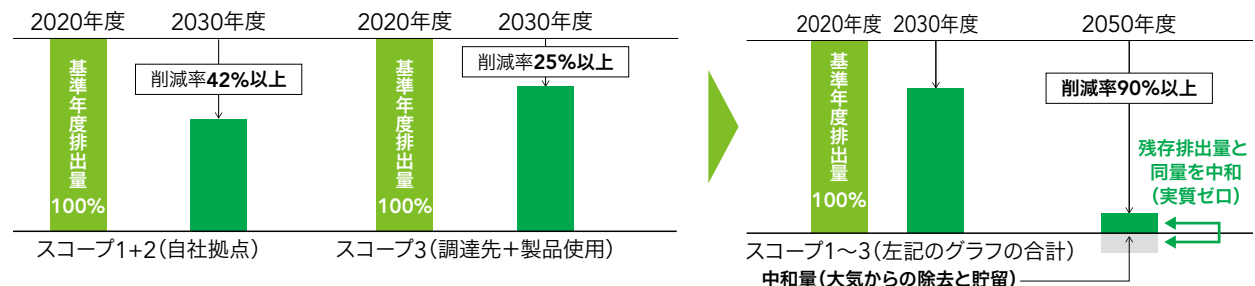
リスク管理

年に1回以上、気候変動に関連する最近の事象を抽出し、これらがもたらすリスクや機会の影響度・頻度・発生時期などを評価し、重要度を特定しています。

リスクと機会に対する対応策を検討したうえで、環境経営のグループ全体の計画を策定し、各組織や各拠点の環境実行計画に落とし込んでいます。これらの計画の実行状況は内部監査などによりチェックされ、必要に応じて是正されます。このプロセスは、OKIグループ全体の環境マネジメントシステムにおいて、統合的に管理されています。

指標と目標

OKIグループでは、気候変動への対応に関する各戦略に対し、以下の目標^{※2}を設け管理しています。



※2 2030年度および2050年度目標はSBT認証を取得しています。排出量や削減率は▶P.56に掲載しています。

戦略

シナリオ分析によるリスクと機会の特定および対応を実施しています。

- 国際機関が発行する気候変動に関するレポートなどを踏まえて、物理的リスク・移行リスクを特定し、気温上昇が4℃になった場合の気候変動の激甚化、気温上昇を1.5℃に抑えるための社会変動を念頭にシナリオ分析を行っています。
- シナリオ分析においては、気候変動、資源循環、汚染の予防の観点も網羅し、これらのシナリオ下におけるリスクと機会を特定、対応策を設定して、今後発生しうる事象への柔軟な対応力の向上を図っています。

■シナリオ分析を踏まえた戦略

気候変動のシナリオを2つに大別し、リスクと機会を想定しながら事業を進めています。気温上昇が3～4℃になると、風水害などの激甚化による物理的リスクが高まるため、サプライチェーン上のBCM/BCP対策を進めています。一方で、OKIグループが環境貢献商品と位置づける防災情報システムなど、得意分野のニーズも高まることが期待されます。気温上昇を1.5℃に抑えるための社会変化が進むと、脱炭素商品へのニーズが増加することから、ハードウェア製品の省電力化や、お客様や社会の脱炭素に貢献するソリューションの拡大など、環境貢献商品の取り組みを推進しています。

シナリオ分析					リスク・機会への対応
カテゴリー	想定する事象	リスク・機会	将来の財務への影響	時間軸 ^{※3}	
1.5℃シナリオ <移行リスク>	脱炭素ニーズの一層の高まり、広範囲化	リスク	商品の省エネ基準や顧客要求未達による受注減	中期	商品：ハードウェア製品の省電力化 サプライチェーン：お取引先とのコミュニケーションの強化 拠点：省エネの徹底と再エネの導入によるCO ₂ 削減
			事業拠点における脱炭素強化に伴うコストアップ	中期	
		機会	脱炭素・省力化ソリューション需要の拡大	中期	商品：脱炭素に資する環境貢献商品の拡大と創出 例：IoTやAIを活用した脱炭素・省力化ソリューションの創出、再エネ駆動型ハードウェア製品の拡大、研究開発の強化(AI軽量化など)
			再エネ普及を支援する技術ニーズの拡大 商品に対する再エネ駆動型製品の需要拡大		
4℃シナリオ <物理的リスク>	異常気象の増加と激甚化	リスク	拠点・調達先：工場や調達先の被災 拠点：気温上昇に伴う空調費用の増加	短期	拠点：気候変動BCM/BCPの強化 調達先：調達BCPの強化
		機会	商品：防災・減災高度化需要の拡大	中期	商品：防災情報システムの事業展開強化

※3 時間軸の定義 長期＝10年以上、中期＝3～10年未満、短期＝1～3年未満

脱炭素社会実現に向けた取り組み

OKIグループでは、先進的な超軽量フレキシブル型太陽光発電システムの導入や、評価・分析事業で使用する電力を再生可能エネルギー由来のものへ切り替えるなど、新たな取り組みを推進しています。これらの施策を通じて、再生可能エネルギーの導入比率を着実に高め、グループ全体で脱炭素社会の実現に貢献しています。



OKIクロステック（リベアセンター）：埼玉県鴻巣市
超軽量フレキシブルタイプの太陽光発電